

ぶらりと 大宰府に 行ってきました

2019.10.3

1人で、福岡に行く私のために、わざわざ、万葉集など興味ない友達が当日、広島から来てくれました

JR 二日市で待ち合わせ、タクシーで、西鉄・大宰府駅まで、途中、パールホテル前の旅人の歌碑

詞書に次田の湯（すきたのゆ・現二日市温泉）に宿りて鶴が音を聞きてつくる歌一首



湯の原に
鳴く芦田鶴は
わがごとく
妹に恋ふれや
時わかず鳴く
巻六

この大伴旅人歌碑は、当日、大宰府でいただいた、大宰府万葉歌碑の冊子に掲載されてません、今、やっとこの歌碑は、筑紫野市湯町にあるとわかりました

「西鉄大宰府駅」前、台風の余波で、今にもふりそう
まずは太宰府天満宮天満宮におかいます



東風吹かばにほひおこせよ梅の花
あるじなしとて春なわすれそ
拾遺・十六

この歌なら、私でも知ってるわ!と友達...

案内所で教えてもらい、政庁跡には駅前からコミュニティバスでいきます

まず、大宰府政庁前で、下車、大通りを渡り、「月山東地区 官衙跡」東西 110m南北 70mに及び
柵が確認され・大伴旅人邸宅跡の候補地の1つ



月山東地区官衙跡



大宰府展示館



一番有名な「梅花の宴」再現ジオラマ
左から二番目が旅人



天平二年（730）正月十三日大宰府帥邸
初春の正月の令い月
気候はく風が和らいで
いる



あをによし奈良の都は
咲く花のほふがごとく
今盛りなり 巻三・三二八

小野老



やすみししわが
大君の食す国は
倭も此処も同じ
とそ思ふ
大伴旅人
巻六・九五六